

## 平成25年度 第6回経営協議会議事録

日 時 平成25年11月29日（金）14時00分～16時10分

場 所 事務局大会議室

出席者 石川、石村、杉田、晝馬

伊東、石井、碓氷、浅利、前田、杉山、鈴木の各委員

欠席者 伊藤、川勝、北原、松井、木村の各委員

陪席者 柳澤副学長

大戸監事

中村学長補佐

- 議事に先立ち、11月6日にご逝去された、徳山博于監事の冥福を祈り、黙祷をささげた。

### I 前回議事録の承認について

平成25年度第4回経営協議会議事録（案）及び第5回経営協議会（メール審議）の議事録（案）を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 昇給制度等の改正について

前田委員から、国家公務員の「一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律」等が定められたことを踏まえた、国立大学法人静岡大学教職員給与規程の一部改正及び「国家公務員給与の改定及び臨時特例に関する法律」が定められたことによる、静岡大学教職員給与規程を適用する教職員の基本給月額の変更細則の一部改正について、資料1により説明があり、審議の結果、第11条第4項に「極めて良好である場合又は」を挿入することとした。

次いで、議長から、本件については、教職員組合との団体交渉の結果を踏まえ、改めてメール審議を行う旨の発言があった。

（意見交換で出された主な意見）

〔⊗：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊗：経験が豊かな時期に昇給を停止することは、理屈としておかしいのではないかとの意見があると思われるが、どの様に対応していくのか。

△：財政上の理由とともに、独立行政法人通則法第63条により、職員の給与は、社会一般の情勢に適合したものとなるように定めなければならないこととされており、本学職員の給与は国の支給基準を踏まえて決定していく必要があると考えている。一方で、教員のインセンティブを考慮して、当該取扱いに併せて何らかの手だてを別途検討していきたい。

⊗：民間企業のこれまでの給与対応を踏まえれば、仕方のない部分もある。

△：財源を見据えながらではあるが、本学に貢献した者については、それ相応の手当を支給すること等も検討していかなければならない。

## 2 大谷団地外周部飛び地の一部譲渡について

前田委員から、近隣住民から譲渡の申し出を受けている大谷団地外周部の飛び地の一部譲渡について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### Ⅲ 報告事項

#### 1 平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果について

浅利委員から、国立大学法人評価委員会事務局から通知のあった、平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果等について、資料3により報告があり、今後、各項目の他大学の取組事例を参考に取組んでいきたいとの発言があった。

なお、議長から、研究費の不適切な経理があったこと等により、その他業務運営に関する重要目標の評定が「やや遅れている」とされたことについて、今後、気を引き締めて対応していきたい旨の発言があった。

#### 2 平成24年度決算について

前田委員から、第3回経営協議会（H25.6.28開催）において承認された、平成24年度決算について、平成25年9月24日付け通知において、文部科学大臣から承認を受けたとの報告があった。

#### 3 平成26年3月卒業・修了予定者の進路状況について

杉山委員から、平成26年3月卒業・修了予定者の進路状況について、資料4により報告があった。

なお、同委員から、連絡が取れず就職・進学の様子が未確認の学生に対しては、特に更なる支援を行っていくとの発言があった。

（意見交換で出された主な意見）

〔⊗：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊗：教員の採用については、赴任先が現段階では不明であっても、内定としては既に学生本人に通知されていることから、この数字を含めることで、内定率は上がるのではないか。

#### 4 国立大学改革プランについて

議長から、文部科学省が示した国立大学改革プランについて、資料5により説明があった。

（意見交換で出された主な意見）

〔⊗：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊗：本改革プランの内容は、取り組み方などの具体性が乏しい。改革の背景、必要性などももっと明確に示されるべきではないか。各大学の活性化が重要であり、学長のリーダーシップを発揮する環境・仕組みを作ることが必要である。また、国の責任、サポートについての記載も欲しい。

⊗：役員会の権限、学長のリーダーシップ、補佐体制を強化することが必要ではないか。また、教授会の役割の明確化が重要である。

## 5 組織改革について

議長から、本学において平成27年度及び平成28年度実施予定の組織改革の基本方針、スケジュール等について、資料6により説明があった。

なお、議長から、各部局によって改革に対する意識の温度差があり、改革案の策定に時間を要しているが、国から支援が受けられる改革加速期間に実施したいとの発言があった。

## 6 平成25年度予算主な国立大学法人関連事項について

前田委員から、本学が申請・採択された、平成25年度予算の主な国立大学法人関連事項の事業概要等について、資料7により報告があった。

なお、議長から、日本再生を牽引するセンターオブイノベーション（COI）の構築に係る採択については、今年度広島大学のサテライトとして、浜松ホトニクス株式会社、浜松医科大学、光産業創成大学院大学等とともに採択されたが、来年度は、本学が中心となれるよう再度の申請準備を行っていること、また、愛知県が採択されたスーパークラスターについて、サテライトの申請中であるとの発言があった。

## IV その他

### 1 「財務リポート2013」について

議長から、本学の平成24事業年度財務諸表などについて、具体的な運営内容や会計処理の解説が記載された「財務リポート2013」について、席上配付資料により案内があった。

### 2 静岡大学関連新聞記事について

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により紹介があった。

以上